

令和 6 年度 第一薬科大学

動物実験に関する自己点検・評価報告書

令和 7 年 3 月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 ☐ 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 機関内規程が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料 第一薬科大学実験動物施設管理運営・同倫理委員会規程 第一薬科大学動物実験指針 第一薬科大学実験動物施設利用の手引き 遺伝子組換え動物飼育及び使用に係る第一薬科大学実験動物施設利用の手引き 第一薬科大学実験動物施設緊急時対応マニュアル
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 文科省の指針に沿って、機関内規程が適正に定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当なし

2. 動物実験委員会

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 ☐ 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験委員会は置かれていない。
2) 自己点検の対象とした資料 研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針 第一薬科大学実験動物施設管理運営・同倫理委員会規程 第一薬科大学動物実験指針 第一薬科大学実験動物施設利用の手引き
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 基本指針に則し、実験動物施設管理運営・同倫理委員会規程および第一薬科大学動物実験指針に基づいて設置されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当なし

3. 動物実験の実施体制

(動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告の実施体制が定められているか?)

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。 ☐ 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験の実施体制が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料 第一薬科大学実験動物施設管理運営・同倫理委員会規程 第一薬科大学動物実験指針 第一薬科大学実験動物施設利用の手引き 遺伝子組換え動物飼育及び使用に係る第一薬科大学実験動物施設利用の手引き 動物実験許可申請書 動物実験計画書 動物実験計画書審査結果通知書 動物実験成果報告書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 基本指針に則して、動物実験計画の立案、審査、承認、結果報告の実施体制が定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当なし

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

(遺伝子組換え動物実験、感染動物実験等の実施体制が定められているか?)

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められている。 ☐ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められていない。 ☐ 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料 遺伝子組換え動物飼育及び使用に係る第一薬科大学実験動物施設利用の手引き
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 基本指針に則して、遺伝子組換え動物実験の実施体制が定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当なし

5. 実験動物の飼養保管の体制

(機関内における実験動物の飼養保管施設が把握され、各施設に実験動物管理者が置かれているか?)

1) 評価結果
☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。
☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料
第一薬科大学実験動物施設管理運営・同倫理委員会規程
第一薬科大学動物実験指針
第一薬科大学実験動物施設利用の手引き
遺伝子組換え動物飼育及び使用に係る第一薬科大学実験動物施設利用の手引き
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。)
規程、実験指針、利用の手引きが整備されている。
規程、実験指針、利用の手引きに基づき、実験動物施設管理運営・同倫理委員会委員長を置き、各研究室の主任教員が実験動物管理者として役割を担っている。
4) 改善の方針、達成予定時期
該当なし

6. その他(動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果)

動物実験については、毎年度、実験責任者から動物実験計画書を提出させ審査しているが、必要に応じて動物実験委員が実験責任者に対してヒアリングを実施し、より厳格な審査を行うよう心がけている。
--

Ⅱ. 実施状況

1. 動物実験委員会

(動物実験委員会は、機関内規程に定めた機能を果たしているか?)

1) 評価結果
☒ 基本指針に適合し、適正に機能している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料
研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針 第一薬科大学実験動物施設管理運営・同倫理委員会規程 第一薬科大学動物実験指針
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。)
基本指針に則して、適正に機能している。
4) 改善の方針、達成予定時期
該当なし

2. 動物実験の実施状況

(動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告が実施されているか?)

1) 評価結果
☒ 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料
第一薬科大学実験動物施設管理運営・同倫理委員会規程 第一薬科大学動物実験指針 動物実験許可申請書 動物実験計画書 動物実験計画書審査結果通知書 動物実験成果報告書
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。)
動物実験計画書は、規定に基づき適切に提出、審査、承認されている。
4) 改善の方針、達成予定時期
該当なし

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

(当該実験が安全に実施されているか?)

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、当該実験が適正に実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。 ☐ 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料 第一薬科大学実験動物施設管理運営・同倫理委員会規程 第一薬科大学動物実験指針 第一薬科大学実験動物施設利用の手引き 遺伝子組換え動物飼育及び使用に係る第一薬科大学実験動物施設利用の手引き
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 特に安全管理を要する感染実験、放射性同位元素使用実験、発癌実験などは行われていない。 遺伝子組換え動物の飼育も適切に行われている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当なし

4. 実験動物の飼養保管状況

(実験動物管理者の活動は適切か? 飼養保管は飼養保管手順書等により適正に実施されているか?)

1) 評価結果 ☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 第一薬科大学実験動物施設管理運営・同倫理委員会規程 第一薬科大学動物実験指針 第一薬科大学実験動物施設利用の手引き 遺伝子組換え動物飼育及び使用に係る第一薬科大学実験動物施設利用の手引き
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 動物実験指針、実験動物施設利用の手引き、遺伝子組換え動物飼育及び使用に係る第一薬科大学実験動物施設利用の手引きに従い、動物飼育が行われている。また、利用者に対する教育訓練は毎年1回講習会を開催し、指導している。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当なし

5. 施設等の維持管理の状況

(機関内の飼養保管施設は適正な維持管理が実施されているか? 修理等の必要な施設や設備に改善計画は立てられているか?)

1) 評価結果 ☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に維持管理されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 第一薬科大学実験動物施設管理運営・同倫理委員会規程 第一薬科大学動物実験指針 第一薬科大学実験動物施設利用の手引き 遺伝子組換え動物飼育及び使用に係る第一薬科大学実験動物施設利用の手引き
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 実験動物施設管理運営委員が定期的に巡回点検し、維持管理に努めている。 微生物モニタリングを実施して、飼育動物が特定の病原微生物に汚染されていないこと (SPF) を外部検査機関により、確認した。
4) 改善の方針、達成予定時期 次年度も微生物モニタリングを実施する。

6. 教育訓練の実施状況

(実験動物管理者、動物実験実施者、飼養者等に対する教育訓練を実施しているか?)

1) 評価結果 ☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 第一薬科大学動物実験指針 令和 6 年度第一薬科大学動物実験教育訓練講習会資料
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 令和 6 年 4 月 20 日に動物実験教育訓練講習会を実施した。講義室の人員の都合から、動物実験教育訓練講習会は対面と Zoom によるオンラインのハイブリッドにより実施した。 本講習会には、実験動物管理者、動物実験実施者、飼養者も参加している。受講者は学生 346 名 (対面 127 名、オンライン 219 名)、本学教職員 11 名 (対面 8 名、オンライン 3 名) であった。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当なし

7. 自己点検・評価、情報公開

(基本指針への適合性に関する自己点検・評価、関連事項の情報公開を実施しているか?)

1) 評価結果
☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料
第一薬科大学 動物実験に関する自己点検・評価報告書
第一薬科大学ホームページ
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。)
動物実験に関する自己点検・評価報告書・情報を大学ホームページで公開している。
4) 改善の方針、達成予定時期
該当なし

8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

該当なし
